

はじめに

本県の農業改良普及事業は、魅力ある農業・農村の再興に向けて、「先進的農業に取り組む経営体の支援」、「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を柱とした「協同農業普及事業の実施に関する方針」の下、国や市町村、関係団体と連携して普及活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災から14年余り、創造的な復興の取組は着実に進んでおり、ほ場の大区画化や担い手への農地集積による100haを越える大規模土地利用型経営体や、高度な環境制御技術等を取り入れた先進的施設園芸経営体が次々と誕生し、本県の農業構造は大きく変化しています。

一方、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化などの恒常的な課題のほか、肥料・飼料・燃料等資材価格の高騰や頻発する自然災害、地球温暖化による夏季の高温や暖冬による収量・品質の低下など、取り巻く情勢は厳しさを増しております。

このような中、本県の普及活動では、農業経営の安定化や地域農業の核となる経営体の持続的発展を図るため、「人・農地プラン」の法定化に伴い市町村が取り組む「地域農業経営基盤強化促進計画」の策定支援をはじめとして、「みどりの食料システム戦略」の推進、「デジタルトランスフォーメーション」やスマート農業技術の導入による生産性の向上、高度環境制御技術を導入した施設園芸や大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術の定着と効率的な栽培体系の確立、資材価格高騰を背景とした堆肥等の有効活用を推進する耕畜連携、新たな担い手の確保・育成及び女性農業者の活躍に関する取組などを重点的に支援しております。

県内9カ所の農業改良普及センターの普及指導員と農業革新支援専門員は、これらの取組に関する35のプロジェクト課題に精力的に取り組んでおり、本書では、令和6年度に完了した課題を中心に、その成果を取りまとめております。

農業改良普及センターでは、今後とも市町村、農業団体、農業者等と連携し、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和3年3月策定）」に掲げるキャッチフレーズ「『共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～』のもと、「豊かな食」、「儲ける農業」の実現を目指して農業現場の課題解決に取り組むとともに、「活力ある農村」を次の世代につなげるため、農業者のみならず食に関係する全ての事業者や消費者の連携を推進してまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和7年6月

宮城県農政部長 石川 佳洋

目 次

I プロジェクト課題の活動事例 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

1 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援

- (1) 農地整備を契機にした地域農業の発展
名取市下余田2期地区における農地整備を契機にした地域農業の発展
下余田2期地区圃場整備事業活性化推進委員会(24人)、
下余田2期地区担い手経営体(10人(農業法人設立予定者含む)) ……亘 理 2
- (2) ワークショップを軸とした地域の合意形成
農地整備を契機とした地域営農体制の構築
清水集落営農組合員(23人) ……大 崎 4
- (3) 農地整備後を見据えた担い手の挑戦
農地整備を契機とした地域営農体制の構築
古宿地区担い手経営体(13人(農事組合法人設立予定者含む)) ……登 米 6
- (4) 米川の将来のために頑張っています！
地域営農構想の実現に向けた営農体制整備
米川地区農地整備事業に関する担い手法人の発起人会(2人) ……登 米 8
- (5) クロマツの商品化率向上を目指して
枝もの用クロマツ栽培における若松の商品化率の向上
株式会社南三陸PinePro(パインプロ) ……気仙沼 10
- (6) 中山間地域における持続可能な営農体制の構築を目指して
ほ場整備を契機とした営農体制の整備
株式会社大輪 ……仙 台 12
- (7) 土地利用型経営体の大豆の単収向上を目指して
土地利用型経営体の大豆多収穫技術の体系構築による単収の向上
町館営農組合(役員7人)、個別経営体(1経営体) ……栗 原 13

2 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- (1) 若手果樹生産者の連携の強化を目指して
果樹産地の維持・発展に向けた若手果樹生産者を中心としたネットワーク構築
管内若手果樹農家(14人) ……大河原 14

3 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- (1) 石巻地域におけるいちごの生産向上と販売金額アップを目指して
産地を形成する多様な担い手のステップアップによるいちごの産出額向上
石巻苺生産組合(16戸)、河南いちご部会(13戸)、やもといちご生産組合(7戸)、
株式会社いちごランド石巻、株式会社トライベリーファーム、株式会社アグリパレット、
株式会社黄金ファーム、株式会社イグナルファーム、株式会社サンエイト、
株式会社アソラ ……石 巻 16
- (2) 黒川地域における水稻乾田直播栽培の普及拡大を目指して
水稻乾田直播栽培技術の定着による大規模土地利用型経営体の基盤強化
有限会社ITO、株式会社高橋グリーン、農事組合法人アグリ今泉、農事組合法人若木の里、
みどりあーと山崎株式会社 ……仙 台 18
- (3) 大豆種子の省力化と安定生産を目指して
省力化技術の活用による優良大豆種子の生産性向上
株式会社クリーンライス、有限会社高須賀農産、農事組合法人アスターファーム、
農事組合法人ドリーム真野、農事組合法人たてファーム・和、蛇田集団転作組合、
株式会社ぱるファーム大曲 ……石 巻 19
- (4) R T K等の最新スマート農業技術の現地実証と導入支援

作業の省力化・効率化に向けたアグリテックの体系的な活用

土地利用型農業者 6経営体（有限会社高須賀農産、株式会社三本木グリーンサービス、
遠藤耕太、有限会社 I T O）（波及対象者：アグリテック導入・活用経営体）…………革新 20

4 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

(1) 直売所における地域特産品の生産振興

地域特産とうもろこし、そらまめの生産振興による直売所の販売額拡大

村田ファーム（会員103人）…………大河原 22

(2) 幻のメロン「クールボジャ」農業法人が生産を受け継ぐ

土地利用型経営体における施設園芸品目の定着

農事組合法人林ライス…………亘 理 24

(3) 土地利用型園芸品目の生産性向上に向けて

土地利用型園芸品目の定着に向けた要因解析による生産性向上

土地利用型園芸品目生産者

（各農業改良普及センター令和6年度普及指導計画の対象者）…………革新 26

(4) 気候変動に対応したいちご生産技術と I P M防除を支援

気候変動に対応したいちご栽培管理技術の再構築

若手いちご生産者8人

（波及対象者：管内いちご生産者及びいちご生産法人）…………亘 理 28

(5) 担い手育成によるねぎ産地の活性化

ねぎの次世代担い手育成による産地の強化

J A新みやぎあさひなねぎ部会部会員5人

（波及対象者：同部会員72人）…………仙台 29

(6) 加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成

加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成に向けた生産技術の確立

新規作付者2人、有限会社ライスアーティスト

（波及対象者：J A加美よつばさつまいも生産者8人）…………大 崎 30

(7) 歴史ある日本なし産地の維持・発展を目指して

「北浦梨」産地の活性化に向けた、ICT活用による栽培の「見える化」

J A新みやぎ北浦梨部会若手生産者（1人）、役員等（3人）、

株式会社ファームおてんとさん栽培担当者（2人）

（波及対象者：J A新みやぎ北浦梨部会員35人）…………美 里 31

(8) たまねぎの直播栽培技術習得を目指して

加工用たまねぎの直播栽培技術の確立による収量確保

株式会社吉尾ファーム、株式会社伸和ファーム…………栗 原 32

(9) 「加工用ばれいしょの生産体制構築」を目指して取り組みました

加工用ばれいしょ産地の生産中・長期計画策定と生産体制構築

登米ぼてと組合（9経営体）…………登 米 33

(10) 石巻地域の大規模露地園芸品目の生産安定

水田におけるばれいしょ及びさつまいもの安定生産

株式会社めぐいと、農事組合法人おしお北部、農事組合法人エコルファーム

…………石 巻 34

(11) 新たなぶどう産地の形成を目指して

生食用ぶどうのブランド化による生産拡大

南三陸大粒ぶどう協議会（会員9人）…………気仙沼 35

5 収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援

(1) 水田農業の新たな輪作体系の確立

子実用とうもろこしを含む水田農業の輪作技術体系の確立

農事組合法人アグリ高倉（構成員3人）

（波及対象者：J A古川大豆・麦・子実用トウモロコシ生産組織連絡協議会（88組織）

…………大 崎 36

II プロジェクト課題の活動事例 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給

1 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援

- (1) さつまいもの安定生産を目指して
さつまいもの産地育成
株式会社やまもとファームみらい野、株式会社おひさま村……………亘 理 40

III プロジェクト課題の活動事例 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

1 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援

- (1) 金成有壁地区の活性化を目指して
金成有壁地区の活性化ビジョンの実現
天水の郷「有壁創成会」(36人)……………栗 原 44

2 関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

- (1) 地域農業の持続的な発展を目指して
担い手を核とした地域農業の継続・発展
表山田・三段田地区の中心経営体(2経営体)及び主要農家(8人)……………気仙沼 46

3 環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

- (1) 「グリーンな水稻栽培」を目指して取り組みました
グリーンな栽培体系の実践による持続可能な稲作経営の実現
グリーンな栽培体系の実践を指向する生産者(5人)
(波及対象者：J A みやぎ登米稲作部会連絡協議会の会員23人)……………登 米 48

IV 各農業改良普及センターの重点活動と一般活動の紹介

1	大河原農業改良普及センター……………	52
2	亘 理農業改良普及センター……………	54
3	仙 台農業改良普及センター……………	56
4	大 崎農業改良普及センター……………	58
5	美 里農業改良普及センター……………	60
6	栗 原農業改良普及センター……………	62
7	登 米農業改良普及センター……………	64
8	石 巻農業改良普及センター……………	66
9	気仙沼農業改良普及センター……………	68

V 令和6年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要…………… 72

VI 令和6年度農業改良普及事業関係主要行事实施状況…………… 75

VII 令和6年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧…………… 76